

大阪万博2025を 日本の成長持続の 起爆剤に!!



世界中から人・モノが集まるイベント、「万博」。
2020年の東京オリンピック・パラリンピックの後、
大阪万博の開催は、関西を、そして日本を
さらに活性化させる起爆剤となります。



経済波及効果の見込みは1.9兆円

関西の地域経済の活性化やビジネス機会の拡大による中小企業の経営強化、さらには日本経済の成長により、約2兆円の経済波及効果が見込まれています。

交流活性化によるイノベーションの創出

大阪・関西が世界に誇るライフサイエンス、バイオメディカルの集積が、万博のテーマに沿った新たなイノベーションでさらに発展していきます。

豊かな日本文化の発信のチャンス

悠久の歴史・文化を誇る大阪・関西が、異なる文化との交流を通じて、さらに豊かなものとなり、世界における認知度が向上します。



資料提供:経済産業省

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

多様で心身ともに健康な生き方
持続可能な社会・経済システム

開催期間

2025年

185
日間

5月3日(土・祝)~11月3日(月・祝)

開催場所

大阪 夢洲(ゆめしま)

想定来場者数:約2,800万人
経済波及効果(試算値):約2兆円

あの時代もそうだった!

日本が変わった軌跡

東京オリンピック

大阪万博

1964×1970

■ 東海道新幹線の開通

1964年の東京オリンピック開催に向け、東海道新幹線が開通。東京~大阪間を4時間で結ぶ新幹線は“夢の超特急”と呼ばれ、6年後に開催された大阪万博では大量の乗客を運び、大きな役割を果たしました。

■ 高速道路やモノレールなど交通インフラの整備

東京では、1964年のオリンピック開催にともない首都高速道路を整備。地下鉄も大幅に整備が進みました。続いて東名高速道路が全線開通。1970年大阪万博開催に向けて、北大阪急行線が開通、大阪モノレールが整備されるなど、その後の大阪の発展に大きく影響を与えました。



政治が変われば、街が変わる。国が変わる。
維新には“実行する力”がある!

大阪の街は、大きく成長しています。地方は変わることができる。
明確なビジョンを描き、実現をしていく。それが維新スピリッツです。

